

2025年度

事業報告書

社会福祉法人 静岡厚生会

総 括

本年度は、中長期計画に基づく取組を進める中で、社会環境や地域ニーズの変化が一層顕著となり、法人運営においても柔軟かつ的確な対応が求められる一年となりました。人材確保の難しさや利用者ニーズの多様化、さらには物価上昇によるコスト増加など、厳しい経営環境が続く中で、各部署において課題と真摯に向き合い、事業の維持と改善に努めてまいりました。

特に、清流の郷においては、新型コロナウイルス感染症への対応を契機として定着した業務慣行の影響により、一部で業務の固定化が見られ、運営上の課題やコンプライアンス上の問題が明らかとなりました。これらにつきましては、速やかに是正措置を講じ、業務の適正化に取り組んでおります。今後は、標準的な業務手順の徹底と内部統制の強化を通じ、法令遵守と再発防止に努めてまいります。

次に、新緑の郷通所介護事業につきましては、稼働低下が続く中で検討を重ねた結果、地域ニーズへの対応における課題が明らかとなりました。誠に苦渋の判断ではありましたが、2025年11月末をもって、清流の郷通所介護へ機能統合を行いました。現在は、統合後の体制の安定化とサービスの質の維持・向上に取り組むとともに、新緑の郷の新たな在り方についても検討を進めております。

また、人材確保の面では依然として厳しい状況が続いておりますが、多様な雇用形態の導入や外国人材の受入れ、定年延長・再雇用制度の活用などにより、持続可能な体制づくりを進めております。今後は、職員一人ひとりが安心して働き続けられる環境づくりと定着支援の充実に、より一層力を入れてまいります。

さらに、業務効率化と経営基盤の強化を図るため、デジタル化および ICT 活用を推進し、給与・会計システムの更新や人事労務管理の整備、勤怠データの活用による業務の可視化を進めてまいりました。これらの取組を今後の業務改善や経営判断にしっかりと活かしてまいります。

本年度は、諸課題への対応を通じて法人の運営体制を見直す重要な一年となりました。引き続き、持続可能で信頼される事業運営の確立に向け、役職員一丸となって取り組んでまいります。

結びに、本年度も利用者の皆様、ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様から多大なるご理解とご支援を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月

社会福祉法人 静岡厚生会

【法人の主要事項】

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 2025年04月・事業進捗状況ヒアリング(ー2024年3月) | 2025年10月・事業進捗状況ヒアリング(ー2024年9月) |
| 2025年05月・執行委員会 | ・国際福祉機器展(H.C.R.)2025視察(東京ビッグサイト) |
| ・監事監査(決算監査) | ・第213回理事会 |
| ・通所介護事業改善プロジェクト
キックオフミーティング | 2025年11月・執行委員会 |
| 2025年06月・評議員選任・解任委員会 | ・第214回理事会 |
| ・第209回/210回/211回/212回理事会 | ・監事監査(定期監査) |
| ・第73回定時評議員会 | ・経営分析会議 |
| ・役員就退任式・懇親会 | ・静岡県老協 施設間交流研修 |
| ・通所介護事業改善プロジェクト会議
(6月-8月 全10回) | 2025年12月・CareTEX名古屋視察(名古屋吹上ホール) |
| 2025年07月・執行委員会 | ・第215回理事会 |
| ・事業進捗状況ヒアリング(ー2024年6月) | ・第74回評議員会 |
| 2025年08月・フィリピン第三期 技能実習生選考 | 2026年01月・第216回/217回理事会 |
| 現地面談・送出機関視察 | ・事業進捗状況ヒアリング(ー2025年1月) |
| 2025年09月・第14回静岡県高齢者福祉研究大会(清流の郷参加) | ・懲戒委員会 |
| ・第2期技能実習生入国後講習 実施施設(大阪)視察 | ・清流の郷利用者家族関係者等説明会 |
| ・第2期技能実習生 配属 | 2026年03月・執行委員会 |
| | ・第218回理事会 |

静岡厚生会 主要事項・取組み概要

I. 持続可能な福祉人材の確保

(1) 多種多様な人材の雇用体系の確立

当年度は、業務の可視化・分解による役割分担の明確化に向けた検討を開始しました。特に、入浴介助や送迎体制の強化、周辺業務における専門職・補助職の配置を進め、業務の専門化と効率化に取り組みました。外国人材の受入れについては、新たに3名を加え、計6名の技能実習生に対する教育と定着促進に向けた支援を実施しました。また、65歳までの定年延長を実現するとともに、75歳までの雇用体制を整備し、経験豊富な福祉人材が引き続き活躍できる環境を整えました。さらに、即戦力となる短時間のスポットワーカーの導入により、持続可能な介護サービスを安定的に提供できる体制づくりと、多様な人材が参画できる環境の整備を進めました。一方で、ICTの活用による業務負担の軽減に取り組むとともに、シフト・人員配置状況と利用稼働に応じたフロア別の介護労働総量の把握と、利用者に対する人的サービス量の可視化を行いました。

(ア) 働きやすい職場づくりとスタッフ支援

負担が多いとされる夜勤業務の改善を図るため、業務の棚卸しおよび実態把握に着手しましたが、各フロアにおける人員配置や利用者特性の違いもあり、比較のための具体的な手法の確立に至らなかったことから、数値化および可視化の実施には至りませんでした。今後は、個別の実態を積み重ねて把握・分析を行い、段階的に適切な評価・判断手法の確立を図ってまいります。

また、ストレスチェックは例年通り11月に実施し、部署間比較・前年度比較を含めた分析を行い、組織課題の把握に努めました。次年度は、分析結果を踏まえ、個別面談や個別支援にも重点的に取り組んでまいります。

離職防止対策として退職者アンケートを実施しました。しかし、データ件数が十分でなく、傾向分析には至りませんでした。引き続きデータの蓄積を進め、今後の定着支援策の検討に活用してまいります。

II. 経営資源の保全と有効活用

(1) 保有資産の保全と管理

既存の設備や備品の適正な管理を図るため、設備・機器台帳の整備に取り組むとともに、備品管理の効率化に向けてQRコードを活用した管理手法の導入に着手し、段階的に運用を拡大しました。しかしながら、対象資産が想定以上に多く、かつ経年劣化が進んでいるものも多いことから、整備には時間を要している状況です。また、重要度・使用頻度・老朽化の程度を評価軸として優先度を設定し、計画的な点検・修繕を行う保守体制の構築にも取り組みましたが、生活に直結する設備・備品が多岐にわたるため、台帳整備と並行した対応となり、体制の確立には至らない部分も残っています。今後は、台帳整備のさらなる充実を図るとともに、優先度に基づく点検・修繕の仕組みを確立し、適切な管理体制の構築に向けて継続して取り組んでまいります。

(2) DX 推進と財源確保

当年度は、給与システムのクラウド化や会計記帳代行システムへの移行を行い、新しい運用を開始しました。また、職員のスマートフォンと連動した仕組みを整え、勤務予定の確認・職員アンケート・情報共有などの情報伝達を効率化するとともに、給与明細の電子化や年末調整業務の移行を進めました。これにより、業務の効率化と情報伝達の迅速化が図られました。今後は、税務・社会保険手続きの電子申請化にも取り組んでまいります。

ICT 環境の整備としては、ネットワーク環境の見直しを行うとともに、タブレット・PC の更新を実施しました。あわせて、用紙使用量の月次把握を開始し、ペーパーレス化に向けた改善を進めてまいります。勤怠データを活用した介護保険関連書類の作成自動化についても検証を重ね、実務で活用できる段階まで整備を進め、順次現場への展開を開始しました。

財源確保の面では、カーボンニュートラル関連の補助金を活用し、熱効率の高い給湯器への更新を行いました。これにより、入浴業務等におけるガス燃料費の削減が期待されます。

(3) ガバナンス強化および課題対応

新緑の郷通所介護事業においては、利用者数の減少が継続する中、法人内にプロジェクト会議を設置し、要因分析と運営体制の見直しについて検討を行いました。利用者確保に向けた取り組みも進めてまいりましたが、要因分析の結果、開設から 20 年余が経過する中で地域の介護ニーズや環境が大きく変化していることが明らかとなり、やむを得ず事業を休止する判断に至りました。現在は、地域ニーズに沿った新たな介護サービスの提供に向けた準備を進めております。

一方、清流の郷において発生したコンプライアンス上の課題については、行政との協議・指導のもと実態調査を実施し、事実関係の把握と原因分析を行いました。その結果を踏まえ、利用者・ご家族・関係者への説明を適切に行うとともに、必要な対応を講じました。

これを機に、法人としての内部統制とガバナンス機能の強化の重要性を改めて認識し、再発防止に向けた体制整備と運用の見直しを進めております。あわせて、職員への周知徹底と教育の強化に継続して取り組んでまいります。

清流の郷 事業取組み概要

施設入所〔特別養護老人ホーム〕	【目標：実績】年間利用者 42,705 名：40,385 名／稼働率 97.50%：92.20%
通所介護〔デイサービスセンター〕	【目標：実績】年間利用者 7,653 名：8,020 名／稼働率 70.99%：71.13%
居宅介護支援・訪問介護 〔ケアマネジメントサービス〕	【目標】年間利用者 2,400 名〈予防 744 件・要介護 1,656 件〉【実績】年間利用者 2,359 名〈予防 707 件・要介護 1,652 件〉
〔ホームヘルプサービス〕	【目標】年間利用者 4,225 名〈予防 984 件・要介護 3,271 件〉【実績】年間利用者 4,237 名〈予防 974 件・要介護 3,268 件〉

I 科学的介護サービスの実践と提供

(1) エビデンスによるケア

(ア) 他施設での取り組みや技術水準の調査研究

9 月に高齢者福祉研究大会へ参加し、技能実習生の受け入れ体制を中心に他施設の取り組みを学びました。また 11 月の施設間職員交流研修では、他施設と自施設との業務上の相違点を把握し、業務改善に向けた知見を得ることができました。

(イ) 動画及びクラウド等 ICT 活用によるマニュアルの再編

技能実習生の育成にも活用できる介護技術動画の作成を検討しましたが、作成にかかる時間や労力を考慮した結果、既存の研修用動画や介護機器メーカー作成動画の活用も含めた形で、引き続き取り組みを継続することとしました。

(ウ) 介護技術の標準化

介護職員を対象に、介護スキルチェックリストに基づく自己評価を実施しました。導入している ICT プラットフォームの機能を活用したことで、評価結果の集計や職員個々の傾向・課題がシステム上で可視化され、今後の職員教育に活かせる基盤を整えることができました。

(2) AI・ICT のインフラ整備

介護職員の負担軽減につながる福祉機器の研究として、国際福祉機器展の視察や入浴機器のデモを実施しました。また、記録システムと請求システムの本体化・システム変更により業務の効率化を図りました。居宅介護支援事業所には補助金を活用してタブレット端末および対応ソフトウェアを導入しました。

II 地域福祉の推進

(3) 地域ニーズへの対応

(ア) 地域自治会とのパートナーシップの構築

ばんばん夏祭り、柳町水神祭、柳町防災訓練に参加し、自治会や地域住民との交流を深めました。

(4) 各地域団体機関への協力支援等

(ア) 各地域団体組織等の定例会への積極的な出席

三番町地区社協の総会に参加しました。地域行事にも予定通り参加し、三番町地区社協と連携して厚生苑在宅介護支援センターとともに介護教室・施設見学を開催しました。

主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実施事項	実施日
4月	介護記録・請求ソフト入替導入（特養・短期入所・通所介護・居宅介護支援）	01日（水）～
	浅間神社甘日会祭職員参加（看護職員、介護職員、技能実習生）	05日（土）
	運営会議（実績概況、食事に関して、フロア移動、研修計画、LIFE 報告、他）	10日（木）
5月	静岡女子高等学校介護福祉士養成課程実習受入	08日（木）～16日（金）
	運営会議（実績概況、食事に関して、フロア移動、研究発表大会、技能実習生、他）	14日（水）
	末広中学校職場体験	19日（月）～21日（水）
	監事監査（決算監査）	23日（金）
6月	英和女学院学生花の日訪問	07日（土）
	運営会議（実績概況、食事に関して、フロア移動、技能実習生 他）	12日（木）
	介護士会議（感染症 BCP 計画研修・感染症予防研修・訓練）	17日（火）
	静岡ホーム園児花の日訪問	19日（木）
	静岡女子高等学校介護福祉士養成課程実習受入	30日（月）～7月11日（金）
7月	運営会議（実績概況、食事に関して、フロア移動、ばんばん夏祭り、他）	15日（金）
	フロア移動（3階あおいから2階あおいへ）	19日（土）
	ばんばん夏祭り出店	27日（日）
	職員健康診断	07月～11月
8月	夏祭り（各フロア）	01日（金）～31日（日）
	運営会議（実績概況、食事に関して、食レク、実習生の対応、他）	13日（水）
	静岡福祉大学介護福祉士養成課程実習受入	18日（月）～9月12日（金）
	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	18日（月）～9月18日（木）
9月	静岡県高齢者福祉研究大会	03日（水）
	静岡県立大学管理栄養士養成課程実習受入	08日（月）～12日（金）
	流しそうめん（2F するが・2F あおい・3F するが・4F するが・4F あおい・デイサービス）	08日（月）～30日（火）
	敬老週間（各フロア）	01日（月）～30日（火）
	運営会議（実績概況、食事に関して、水神祭、防災訓練、他）	11日（木）
	水神祭一	23日（火）

10月	入所者健康診断	02(火)・16(木)・20日(月)
	第2期技能実習生現場実習開始	08日(水)
	国際福祉機器展示会視察：東京ビッグサイト	09日(木)
	静岡女子高等学校介護福祉士養成課程実習受入	15日(水)～23日(木)
	運営会議(実績概況、食事に関して、入浴の件、防災訓練、技能実習生関係 他)	16日(木)
	消防設備点検・夜間想定防災訓練・災害BCP訓練	27日(月)
11月	英和女学院学生収穫祭訪問	01日(土)
	入所者インフルエンザ予防接種	05日(水)・19日(水)
	施設間交流研修職員派遣	11日(火)～12日(水)
	静岡女子高等学校介護福祉士養成課程実習受入	12日(水)～18日(火)
	運営会議(実績概況、食事に関して、入浴の件、他)	13日(金)
	施設間交流研修職員受入	20日(木)～21日(金)
	監事監査	27日(木)
12月	デイサービス定員変更	01日(月)
	福祉機器展示会視察：名古屋吹上ホール	03日(水)
	柳町防災訓練	07日(日)
	運営会議(実績概況、食事に関して、入浴の件、LIFE報告、年末年始対応他)	13日(金)
1月	新年訓示	05日(月)
	運営会議(実績概況、食事に関して、入浴の件、介護職員自己チェック、他)	14日(金)
	施設長(管理者)交代	31日(土)
2月	記録・業務支援タブレットシステム導入(居宅介護支援)	04日(水)
	運営会議(実績概況、報告・検討事項、入浴の件、他)	12日(木)
3月	運営会議(実績概況、報告・検討事項、入浴の件、技能実習生関係 他)	11日(水)
	職員腰痛検査	18日(水)～23日(月)
	三番町地区社協介護教室	19日(木)

清流の郷 施設運営報告

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

ア. 運営概要

コロナ禍において感染症対策を理由に見送ってきた季節行事や野外活動、レクリエーションを積極的に再開し、入所者と職員が共に楽しめる時間を増やす取り組みを続けました。一方で、感染症対策を優先するあまり本来行うべき業務が疎かになり、入所者の皆様に不利益をもたらしていた実態が判明しました。法人本部主導のもと指定権者との協議を重ね、不利益事項の回復と職員の意識改革、業務フローの見直しに取り組みました。今後も継続してガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底を図り、適切なサービス提供に努めてまいります。

人材確保の一環として、10月より第2期フィリピン人技能実習生1名を受け入れました。第1期生とともに礼儀正しく明るい実習生の存在は既存職員にとっても良い刺激となり、入所者の皆様からも好評をいただいています。今後も日本語習得と介護技術の向上を目指した教育体制の充実を図るとともに、第3期生の受け入れに向けた準備を進めてまいります。

また、新たな取り組みとしてスポットワーカーの導入を行いました。応募対象を有資格者に限定することで質を担保しながら急な欠員に対応できる体制を整え、一定の効果を得ることができました。

2025年度の退所者は46名で、今年度も多くの方を施設でお看取りしました。介護職員は看取り介護の振り返りを通じて、日々の声かけや身体の清潔保持、好きなものを食べる喜び、家族との時間を大切にすることの意義を共有し、今後のケアに活かせるよう努めています。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2026年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	23	1	－	24
女	75	0	－	75
合 計	98	1	－	99

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市 外		県 外		合 計
性 別		男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	－	－	－	－	－	
	65～69	1	1	－	－	－	－	2
	70～74	2	1	－	－	－	－	3
	75～79	2	11	1	－	－	－	14
	80～84	8	12	－	－	－	－	20
	85～89	5	17	－	－	－	－	22
	90～94	3	16	－	－	－	－	19
	95～99	－	15	－	－	－	－	15
	100～	2	2	－	－	－	－	4
平均年齢		男 83.91 歳		女 87.90 歳		全 体 86.93 歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	－	1	11	10	2	24
女	－	1	25	35	14	75
合計	－	2	36	45	16	99
割合	0.0%	2.0%	36.4%	45.4%	16.2%	平均介護度 3.75

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行事	地域ボランティア協力・支援
4月	桜花見レクなど（各フロア随時）	
5月	端午の節句、 母の日レクなど（各フロア随時）	
6月	父の日レクなど（各フロア随時） 7日 英和女学院 花の日訪問 19日 静岡ホーム保育園 花の日訪問	英和女学院学生6名、引率教員1名 静岡ホーム保育園 園児27名、引率教員4名
7月	七夕レクなど（各フロア随時）	
8月	1~31日 夏祭り（各フロア）	
9月	1~30日 敬老週間（各フロア） 8-30日 流しそうめん 23日 水神祭	
10月	1-30日 運動会レク（各フロア） 2日・16日 20日 入所者健康診断 27日 総合防災訓練	
11月	1日 英和女学院 収穫祭訪問	英和女学院学生6名、引率教員1名

	5日・19日 インフルエンザワクチン接種	
12月	7日 柳町地区防災訓練 クリスマスレクなど（各フロア随時）	
1月	お正月レクなど（各フロア随時）	
2月	節分レクなど（各フロア随時）	
3月	ひな祭りレクなど（各フロア随時）	

*その他、各フロアでおやつバイキング等に参加

月	内容	実施日	月	内容	実施日
余暇	電電萩の会 歌の会	中断	看護	総回診	月4~5回
	民謡クラブ	中断		皮膚科往診	月2回
	書道教室	中断		歯科指導	月1回
	外出	適宜		入所者健康診断	年1回
	レクリエーション（季節行事）	随時		インフルエンザワクチン接種	年1回
	リハビリ体操（各フロア）	毎日		新型コロナワクチン接種	年1回
	おやつバイキング（各フロア）	毎日		血圧測定	週2回
	誕生会（各フロア）	月1回		嗜好調査	半年毎
介護	入浴	週2回	栄養 防災	体重測定	月1回
	シーツ交換	2週1回		季節行事食	随時
	ケアカンファレンス	月10回程度		防災訓練	月1回
	理髪	月2回		総合防災訓練	年1回
	美容	月1回			

2. デイサービスセンター清流の郷

ア. 運営概要

2025年度は、「利用者が楽しめるレクリエーションの充実」を重点目標とし、おやつ作り及び外出レクリエーション（ドライブ）を計画的に実施しました。

おやつ作りでは、清流の郷菜園で収穫した野菜を活用した調理や季節に応じた菓子作りを行い、食に親しむ機会の提供に努めました。外出レクリエーションでは静岡市内の名所を巡り、夏季は用宗・久能山方面、冬季から春季にかけては美和・新聞方面へのドライブを実施しました。前年度より進めてきた感染症対策の継続により、コロナ禍からの回復を踏まえた活動の活性化を図ることができました。

2025年11月にデイサービスセンター新緑の郷が休止したことに伴い、同事業所の登録利用者32名を受け入れました。これに対応するため、同年12月より定員を35名から40名へ変更し、フロアレイアウトの見直しを行いました。統合当初は稼働率の向上が見られましたが、2026年1月以降は重度利用者の利用終了や入院・ショートステイ利用の増加により、利用日数の減少傾向が見られています。また、2025年11月以降、居宅介護支援事業所への定期訪問が十分に実施できておらず、情報発信が不十分な状況となっています。今後は、活動内容や受入体制等について介護支援専門員への情報提供を定期的に行うとともに、対面での広報・営業活動を強化し、利用者確保に努めてまいります。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等	
4月	外気浴 お花見 収穫祭	～毎月～ カレンダー作り 体重、体力測定 防災訓練 ボランティア（演奏、歌） 季節の壁飾り作り 書道、回想法、リラクゼーションの日	
5月	ツツジ鑑賞 静岡ホームの慰問 未広中学職場体験実習		
6月	父の日 英和女学院の慰問		
7月	七夕の会 スイカ割り		
8月	久能山・大浜へドライブ		
9月	敬老会 用宗漁港へドライブ		
10月	英和女学院の慰問 おやつ作り		
11月	ゲーム大会 おやつ作り		～毎日～ 脳トレ（パズル 漢字 計算 むり絵など） 生活機能向上運動（個別） 小集団機能向上訓練 嚙下体操 作業療法
12月	クリスマス会 正月飾り作り		
1月	正月遊び 鏡開き		
2月	節分 梅・美和桜鑑賞		
3月	おやつ作り お花見 蒔種祭		

3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

ア. 運営概要

近年の家族形態の変化により、独居高齢者の増加や就労等による家族支援の不足が顕著となり、通院介助や救急搬送時の付き添い等のシャドーワークが増加するなど、ケアマネジャーの業務負担は拡大しています。また、入院期間の短縮化による退院調整の困難や、施設入所待機者の増加、ショートステイの受入制限により、在宅生活の継続支援はより複雑化しています。利用者数は減少傾向にある一方で、生活困窮や複合的課題を抱える困難事例は増加しており、支援の質・量ともに高度化が求められています。さらに、従来の高齢者像にとらわれない多様なニーズへの対応も必要となっています。昨年度に発足した安西番町圏域ケアマネ連絡会については、ケアマネジャー数の減少という課題はあるものの、参加者間の顔の見える関係性の構築が進み、地域課題の共有および明確化を通じたケアマネジメントの質向上に向けた取組が継続されています。また、本年度は6年ぶりに新人ケアマネジャーを採用し、育成を通じて組織全体のスキル向上にも寄与しました。今後も所内の情報共有を徹底し、チームとしての支援力強化に取り組んでまいります。

4. 厚生苑ホームヘルプサービス

ア. 運営概要

本年度も引き続き、ヘルパーの体調管理および感染対策を徹底し、安全・安心なサービス提供に努めました。在籍ヘルパーが減少傾向にある中、個々の状況を丁寧に把握しながら、利用者ニーズに応じたサービス提供体制の維持・調整に取り組みました。独居利用者における訪問回数の増加や、同居家族がいるにもかかわらず本人の望む生活への支援が十分に得られないケースが増加しており、支援の必要性は高まっています。これらに対し、ケアマネジャーや関係職種との連携を図りながら、利用者の意向と実現可能な支援内容との調整を丁寧に行い、適切なサービス提供に努めました。

また、緊急時対応を要する場面も多く、ヘルパー間の情報共有体制の強化に取り組むとともに、訪問介護が一对一のサービスである特性を踏まえ、リスクマネジメントについて多角的な視点から継続的な見直しを行いました。今後も、基本的ルールや接遇の再確認、BCPの見直しおよび訓練の実施等を通じ、サービスの質の向上に向けた取組を継続してまいります。

イ. 利用状況

利用世帯状況と構成

2026年3月31日現在

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯（利用料負担率10・20・30%）	35世帯	ひとり暮らし	31世帯
社会福祉法人減免世帯（7.5%）	1世帯	高齢者世帯	5世帯
生活保護世帯（0%）	5世帯	その他	5世帯
合計	41世帯	合計	41世帯

最低年齢70歳 最高年齢101歳

5. 各種委員会・会議活動

ア. 生活向上委員会

① 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

指針・規定に基づき、切迫性・非代替性・一時性を確認し、今年度、身体拘束実施者はいませんでした。虐待予防・発見チェックシートを実施し、虐待につながる不適切ケアについて考えました。虐待防止の事例検討、虐待・不適切ケアを防ぐ研修、身体拘束排除の知識や、認知症の研修を実施し、身体拘束排除や虐待防止に関する理解について学びました。

② 安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。感染症については、感染症及び災害にかかわる業務継続計画の研修、嘔吐物の処理の実技研修、感染症の標準予防策の研修を実施し、予防策や発症した際の対応方法について学びました。

③ 食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、歯科医師から歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、委員会内で共有を行いました。状態が低下した方への補助食品の使用、食形態の変更を連携して行いました。

④ 入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、体位交換枕やエアーマット、マットレスの適正な使用方法を確認しました。委員会が主体となり、ポジショニングによる褥瘡・拘縮予防研修を実施しました。

⑤ 広報・アクティビティ委員会

七夕、クリスマス、節分などの季節行事や食事・音楽のレクリエーションをフロア毎に行い、入所者に楽しんでいただきました。8月にはフロアごとに夏祭りを開催し、輪投げや魚釣りのゲームを楽しみました。9月には玄関前で流しそうめんを行いました。

⑥ 排泄委員会

オムツの発注・納品や備蓄用品の検討、ポータブルトイレの定期清掃など、日常業務に直結した排泄介護に関する話し合いを行いました。日中のオムツ外しをすすめ、自立支援を行うと共にコスト削減に努めるよう活動しました。

イ. 会議活動

① 施設運営会議

毎月1回、施設長・課長・管理栄養士・看護師・フロアリーダー・生活相談員などによる会議を開催し、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷の運営に関して、検討と情報の共有を行いました。

② フロア会議

感染症予防のために控えていたフロア会議を徐々に再開し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容について情報の共有を行いました。開催回数が少ない分については、日常業務の中での情報共有に努めました。

③ ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種での検討を、感染症予防の観点から書面で行いました。

④ 施設介護職員会議

年2回、介護職員会議を行い、感染症と災害のBCP計画の周知と、感染症の予防およびまん延防止のための研修と訓練を実施しました。

⑤ 通所介護会議

毎月1回、経営会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑥ 衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

⑦ 防火・防災管理委員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。10月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。その後、職員出勤率30%を想定したBCP訓練を実施しました。

12月には、柳町の防災訓練に参加しました。

⑧ 優先入所判定・虐待防止・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、生活相談員、看護師、介護職員、管理栄養士が交代で参加し、多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。

⑨ ミールラウンド

協力歯科医師のほか関係職種職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を毎月2回行いました。

6. ボランティア活動

ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		園児・中学 高校生等		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
6	2	33	-	-	-	-	2	33	1.0
11	1	06	-	-	-	-	1	06	0.2
計	3	48	-	-	-	-	3	48	1.2

イ. 活動団体

・静岡ホーム保育園／静岡英和女学院中学校・高等学校

新緑の郷 事業取組み概要

施設入所〔特別養護老人ホーム〕	【目標：実績】年間利用者 14,235名：14,301名／稼働率 97.50%：97.95%
通所介護〔デイサービスセンター〕	【目標：実績】年間利用者 7,546名：3,451名／稼働率 70.00%：55.04%

I. 科学的介護サービスの実践と提供

(1) エビデンスによるケア

(ア) ケアの個人差や相違（拘り等）

業務の洗い出しと分析、日課表の再確認を通じて業務効率化に取り組みました。現状整理を進める中で改善すべき課題が明確になりましたが、具体的な改善策の立案・実行については次年度への持ち越しとなりました。今後は課題の優先順位を整理しながら、実効性のある改善策の検討と実施に取り組んでまいります。

(イ) 経験途中採用者の初期評価と調整指導

円滑な業務遂行を目指し、マニュアルや業務手順の見直し・整備に取り組みました。業務の流れを整理することで標準化と効率化につながることができました。年度内に未実施となった全体研修会や職員面談については次年度に実施し、情報共有と連携強化を図ってまいります。

(2) 介護技術の標準化

(ウ) 自己及びチームの介護技術の点検作業と総合評価

利用者視点を軸に、職員にとっても安全で負担の少ないサービス提供を目指し、自己評価と相互評価を実施しました。相互点検作業については次年度の課題として引き続き取り組んでまいります。ま

た、他施設間交流会や県高齢者福祉研究大会を視察し、外部の知見を取り入れました。次年度は大会への参加も視野に入れ、取り組みを継続します。

(3) ICT・インフラ整備

(エ) 既存機器・システムの使用状況調査と業務改善の効果測定

効率化したい業務を明確にした上で福祉機器展へ職員を派遣し、機器選定のための情報収集を行いました。入所者家族とのコミュニケーションツールおよび入浴洗身機器の導入を実施し、業務効率化と職員の負担軽減につなげました。次年度も引き続き導入効果の検証と活用の拡充に取り組んでまいります。

II 地域福祉の推進

(1) 地域ニーズへの対応

(ア) 地域自治会と各団体とのパートナーシップの構築

安西学区のイベントや祭りへ参加し、地域住民との交流を通じて職員のモチベーション向上と厚生会の認知向上に努めました。中学生の職場体験やサマーショートボランティアの受け入れも実施しました。2025年には初めて地域の祭りへ出店し、職員全員で地域との交流を深めることができました。今後も地域に根ざした福祉施設として、連携強化に取り組んでまいります。

主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

	実施事項	実施日
4月	BCP研修（感染症対策）	1日～30日
	運営会議（2025年・2026年事業計画、面会緩和について）	28日（月）
5月	こどもの日レク、母の日レク	5日（日）・11日（日）
	監事監査（決算監査）	23日（木）
	運営会議（人事について、デイサービス新緑の郷について、7月フロア引越し）	26日（月）
6月	運営会議（事業計画、デイサービス新緑の郷について、7月フロア引越し）	23日（月）
7月	運営会議（事業計画、職員健康診断、デイサービス新緑の郷について 他）	22日（月）
	職員健康診断	7月～10月
8月	スイカ割りレク	6日（水）・8日（金）
	流しそうめんレク	15日（金）・29日（金）
	運営会議（事業計画、人事について、デイサービス新緑の郷について他）	25日（月）
	第2次技能実習生 来日（関西国際空港 施設長 他）	26日（火）
9月	高齢者福祉研究大会（浜松アクト視察：介護課長 他）	3日（水）
	運営会議（事業計画、防災訓練、第2次技能実習生について、他）	10日（木）
	新緑の郷 敬老会	14日（日）
	第2次技能実習生 来静	29日（月）
10月	国際福祉機器展（有明 東京ビッグサイト 介護課長他）	9日（木）
	入居者健康診断	9日（木）
	カラオケレク	19日（日）
	防災訓練	24日（金）
	運営会議（事業計画、給与改定、安西学区自治会、コンプライアンス違反他）	27日（月）
11月	入居者インフルエンザワクチン接種	4日（火）・18日（火）
	新緑の郷 運動会	9日（日）
	焼き芋レク	14日（金）

	施設間交流研修派遣（葵区 特養 竜爪園）	23日（木）～24日（金）
	運営会議（事業計画、デイサービス新緑の郷、安西フェスタ 他）	25日（月）
	監事監査	27日（木）
12月	福祉機器展示会視察（名古屋吹上ホール 介護課長 他）	4日（水）
	安西フェスタ	14日（日）
	運営会議（事業計画、年末年始、人事について、デイサービス新緑の郷 他）	22日（月）
	クリスマス会	23日（火）・25日（木）
1月	新年訓示	5日（月）
	運営会議（事業計画、コンプライアンス違反、デイサービス新緑 他）	26日（月）
2月	節分レク	3日（火）
	運営会議（事業計画、コンプライアンス違反、人事、廿日祭 お躰 他）	24日（火）
3月	ひな祭りレク	2日（月）
	カラオケレク	7日（土）
	職員腰痛検査	11日（水）～23日（月）
	運営会議（事業計画、人事について、新緑の郷感染症、第3次技能実習生 他）	23日（月）

新緑の郷 施設運営報告

1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

ア. 運営概要

2025年度は利用者および職員の安全・安心を最優先に、介護職員の業務負担軽減と業務効率化を目指しました。業務の棚卸と分析を通じて改善策の立案に取り組み、入浴・食事・排泄介助などの日常ケアにおいては、職員が役割を明確にしながら連携・協力することで、効率的かつ質の高い業務遂行を実現しました。

今年度より第2期技能実習生2名を配置したことで、指導にあたる職員自身がマニュアルを再確認する機会となり、知識・技術の底上げにもつながりました。ICT機器については入浴介助業務の効率化を目的に福祉機器展へ職員を派遣し、入浴機器の試行・導入を経て業務効率化と職員の身体的負担軽減を図ることができました。また、地域行事への参加・出店を通じて地域住民との交流を深め、地域に根ざした施設づくりへの第一歩を踏み出しました。

2025年度は17名を施設で看取り、定員の約半数が入れ替わりました。「施設生活の日常の延長線上にある看取りケア」を理念に、最期まで丁寧に看送ることができました。

イ. 利用状況

■ 市町村別／性別人員

2026年3月31日現在

市町村	静岡市	市外	県外	合計
男	6	-	-	6
女	33	-	1	34
合計	39	-	1	40

■ 性別／年齢構成人員

市町村		静岡市		市外		県外		合計
性別		男	女	男	女	男	女	
年齢構成	～59	-	-	-	-	-	-	-
	60～64	-	-	-	-	-	-	-
	65～69	-	-	-	-	-	-	-
	70～74	-	1	-	-	-	-	1
	75～79	1	1	-	-	-	-	2
	80～84	2	6	-	-	-	-	8
	85～89	-	6	-	-	-	-	6
	90～94	2	12	-	-	-	1	15
	95～99	1	5	-	-	-	-	6
100～	-	2	-	-	-	-	2	
平均年齢		男 87.9歳		女 89.8歳		全体 89.5歳		

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	-	-	4	2	-	6
女	-	-	9	15	10	34
合計	-	-	13	18	10	40
割合	0.0%	0.0%	32.5%	45.0%	25.0%	平均介護度 3.9

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4月	桜レクなど（各フロア随時）	
5月	端午の節句 母の日御祝（各フロア随時）	
6月	父の日御祝 散歩レク（各フロア随時）	
7月	七夕レク（各フロア開催）	
8月	20日・25日 スイカ割り	
9月	15日・29日 流しそうめんレク	
10月	22日 敬老会	
11月	カラオケレク	
12月	9日 入居者健康診断	
1月	7日・12日 入居者インフルエンザ予防接種	
2月	17日 運動会	
3月	14日 焼き芋レク	

月	内 容	実施日	月	内 容	実施日
余 暇	踊り鑑賞と歌う会	中 止	看 護	総回診	月4～5 回
	書道教室	中 止		皮膚科往診	月1回
	フラワーアレンジメント	中 止		入所者健康診断	年1回
	外 出	適 宜		インフルエンザワクチン接種	年1回
	リハビリ体操(フロア毎)	毎 日		血圧測定	週2回+随時
介 護	入 浴	週2回	栄 養	検 尿	随 時
	シーツ交換	週1回		嗜好調査	年1～2回
	ケアカンファレンス	月10回程度		体重測定	月1回
	理 髪	月2回		特別メニュー	月1回
	美 容	-	防 災	防災訓練	月1回
				総合防災訓練	年1回

2. デイサービスセンター新緑の郷

ア. 運営概要

2025年度は、前年7月頃から利用者数の減少が続く中、定員を35名から30名へ変更し、空き情報の発信や集客に努めましたが、十分な成果を得ることはできませんでした。月に2名程度の新規利用がある一方、3～4名が利用休止となる状況が続き、利用者数の減少に歯止めをかけることができませんでした。

5月末より通所介護事業所長経験者を中心とした「通所介護事業改革プロジェクト会議」を設置し、要因分析や運営体制の見直しを重ねるとともに、利用者確保に向けた取り組みを進めました。その結果、地域ニーズを取り巻く環境が大きく変化していることが明らかとなり、20年以上にわたり運営を続けてきたデイサービスについて、やむを得ず11月末をもって休止することとなりました。

休止に際しては、最後までご利用いただいた30名余りの利用者の皆様から、再開を期待する温かいお言葉を多数いただきました。

現在は、地域ニーズに沿った新たな介護サービスの提供に向けて準備を進めております。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見、御練り見学	～毎月～
5月	映画鑑賞、マグネットダーツ	カレンダー作り
6月	茅の輪くぐり	体重測定
7月	七夕祭り、スイカ割り	体力測定
8月	流しそうめん、夏祭り	防災訓練
9月	敬老会 映画観賞会	季節の作品作り
10月	運動会、パターゴルフ	
11月	秋を感じる外気浴	～毎日～
	11月末をもって休止	脳トレ パズル 計算 ぬり絵 屋外歩行 生活機能向上運動（個別） 小集団機能向上訓練 嚙下体操 作業療法

3. 各種委員会・会議活動

ア. 生活向上委員会

① 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

それぞれ動画研修を実施し、介護の振り返りを実施しています。身体拘束廃止については、毎月身体拘束に該当する入所者の確認を継続しました。

② 安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、ヒヤリハット、事故報告書の集計分析を行い、重大事故に繋がらない対応方法を検討しました。また、動画研修を実施し事故予防への意識強化を図りました。感染対策では業務継続計画（BCP）に基づき、委員長と施設看護課が中心となり初動体制の訓練を行いました。

③ 科学的介護情報システム「LIFE」対応委員会

2022年度の報酬改定により導入された LIFE の情報の収集・活用を推進するため、継続的に取り組みを行っています。褥瘡の発生防止、口腔衛生の管理、ADL 値の推移等、入所者のデータ収集と情報提出を行いました。口腔衛生の管理では、協力歯科医師から入所者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れました。

④ 食事・アクティビティ委員会

入所者の身体状況に合わせた栄養管理・食事の提供に努めました。フロア合同で敬老会、運動会などを実施し、季節ごとの行事、おやつレクの充実を図り、入所者の生活の質の向上に努めました。

⑤ 入浴・施設美化委員会

利用者への適切な入浴機会の提供のための活動、衛生管理等に基づく施設の美化活動への取り組みを行いました。

イ. 会議活動

① 施設運営会議

毎月1回、施設長・介護課長・看護主任・フロアリーダー・デイ管理者による会議を開催しました。事業実施状況の報告、法人動向の報告、新緑の郷運営に関しての検討と情報の共有を行いました。

② フロア会議

運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容についての検討と情報共有を行いました。

③ ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。

④ 施設全体会議

例年、介護、看護、相談等施設内の多職種による情報共有および研修の場としておりますが、集合形式の会議は行うことができませんでした。研修については全体会議に代え、映像・書面で「虐待に関する理解」「身体拘束排除の知識」「感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識」等の研修を行いました。

⑤ 通所介護会議

毎月1回、経営会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑥ 衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

⑦ 防火・防災管理委員会

防災に関することについて会議を開催しました。今年度は夜間を想定した防災訓練を机上訓練として実施しました。実体験としては消防署への発報方法、消火栓・水消火器を使用した初期消火、発電機の操作方法を学びました。その後、受水槽からの給水方法。土嚢の積み訓練を実施しました。

⑧ 優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

清流の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士が交代で参加し、多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。

I. 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 榎本 雅亮
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 1979年 11月 26日
- 5 登記日 1980年 1月 23日
- 6 組織

〔相談役〕 芹澤 博
〔評議員〕 鈴木洋一
谷 功
中村敏六
天野宗彦
川口孝次
川村清美
小林かずみ
村田吉之

〔役員〕 理事長 榎本雅亮
専務理事 松田 晃
常務理事 中山千砂子
理 事 内藤孝二
理 事 海野フミ子
理 事 吉川雅彦
監 事 磯貝美佳
監 事 河俣貴之

〈2026年3月31日現在〉

7 活動拠点

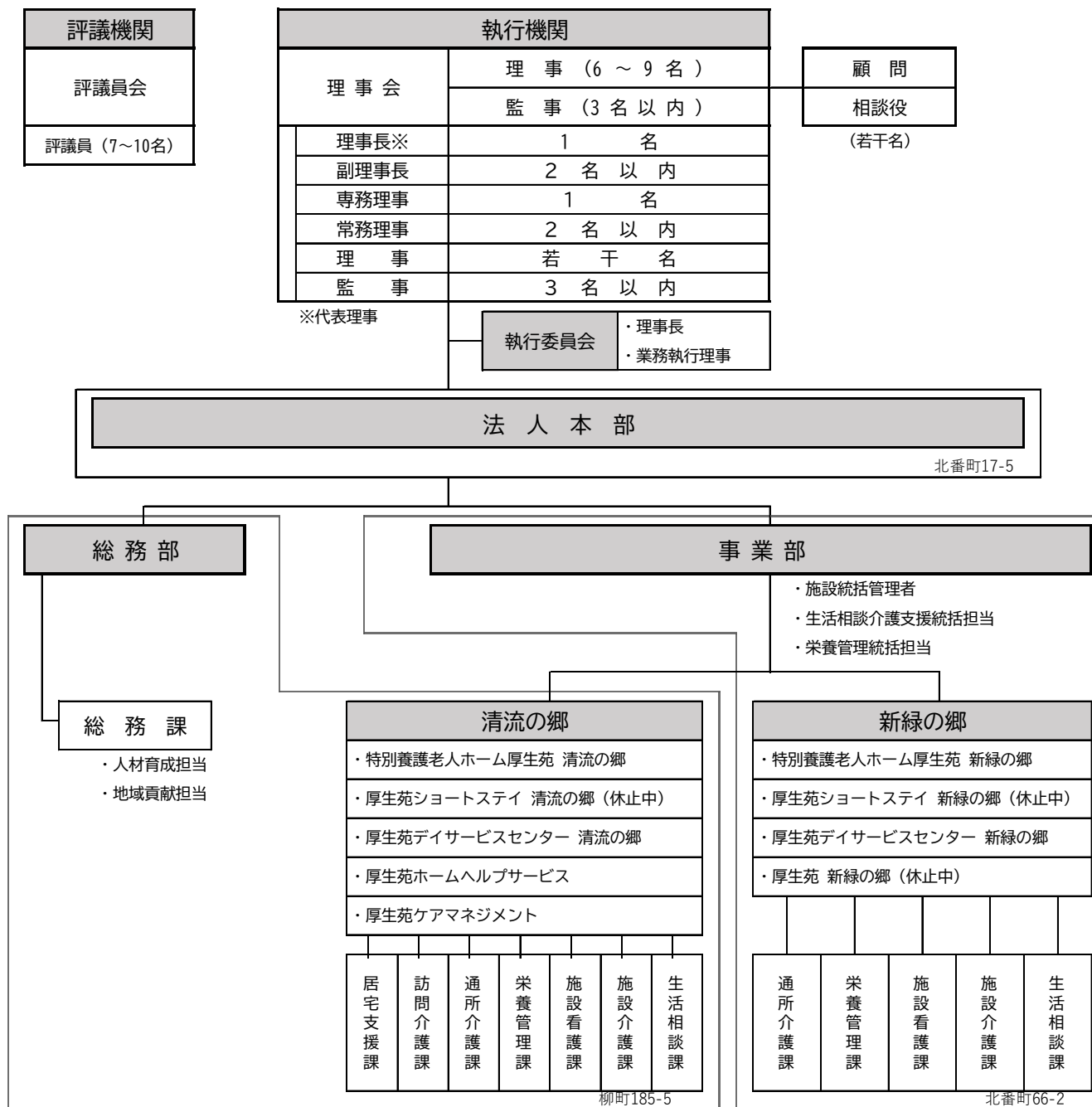
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m ²	643.54 m ²	鉄骨 3 階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m ²	6,358.75 m ²	鉄骨 4 階建
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m ²	3,350.73 m ²	鉄骨 4 階建

8 実施事業

事業部門（管理者）	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 (施設長 松田 晃)	特別養護老人ホーム	120 人	1980 年 6 月 1 日
	ショートステイ（空床利用）	－人	1982 年 11 月 12 日
	デイサービスセンター	40 人	1996 年 4 月 1 日
	ケアマネジメントサービス	－	1999 年 10 月 1 日
	ホームヘルプサービス	－	1996 年 4 月 1 日
厚生苑 新緑の郷 (施設長 武田 剛)	特別養護老人ホーム（10 床休止中）	40 人	2005 年 9 月 1 日
	ショートステイ（空床利用）	－人	2005 年 9 月 1 日
	デイサービスセンター	－人	2005 年 9 月 1 日
	ケアマネジメントサービス	－	2010 年 9 月 1 日
厚生苑 さくらの郷 (責任者 松田 晃)	デイサービスセンター	5 人	2021 年 4 月 1 日
	在宅(老人)介護支援センター	－	2017 年 7 月 3 日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会



10 職員配置状況

		雇用形態	管理者	介護職員	訪問介護員	看護職員	機能訓練指導員	主任介護支援専門員	介護支援専門員 生活相談員	管理栄養士	労務職員	運転手	施設駐在員	事務職員	産休育休者	総計		
厚生苑 さくらの郷	法人本部	正規職員	1														1	
		有期職員	1															1
		計	2															2
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員																
		有期職員													1			1
		計													1			1
	拠点計	正規職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		有期職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
厚生苑 清流の郷	総務部	正規職員	1												2		3	
		有期職員									1				1		2	
		計	1								1				3		5	
	事業部	正規職員	(1)	1		(1)				(2)	(1)							6
		有期職員										1						
		計	(1)	1		(1)				(2)	(1)	1						7
	施設介護	正規職員	(1)	42		3	1			1	1				2	4		55
		有期職員		10		4	1			1	1	1		3				21
		計	(1)	52		7	2			2	2	1		3	2	4		76

厚生苑 清流の郷	通所介護	正規職員							2							2	
		有期職員		9		3	1		1			2					16
		計		9		3	1		3			2					18
	居宅介護支援	正規職員							1								1
		有期職員							5								5
		計							6								6
	訪問介護	正規職員			2												2
		有期職員			4												4
		計			6												6
	拠点計	正規職員	2	43	2	3	1	1	3	1	0	0	0	4	4		64
		有期職員	0	19	4	7	2	5	2	1	3	2	3	1	0		49
		計	2	62	6	10	3	6	5	2	3	2	3	5	4		113
厚生苑 新緑の郷	施設介護	正規職員	1	18		3			1	1						24	
		有期職員		5		1							4			10	
		計	1	23		4			1	1			4			34	
	通所介護	正規職員															
		有期職員															
		計															
	拠点計	正規職員	1	18	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	24
		有期職員	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	10
		計	1	23	0	4	0	0	1	1	0	0	4	0	0	0	34
法人全体	正規職員	3	61	2	6	1	1	4	2	0	0	0	4	4		89	
	有期職員	1	24	4	8	2	5	2	1	3	2	7	2	0		60	
	計	3	85	6	14	3	6	6	3	3	2	7	7	4		149	

()内は兼務

2026年3月31日現在(単位:人)

II. 法人運営状況

1 理事会（開催回数 10 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 209 回)	2025 年 6 月 5 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人／6 人 (2 人／2 人)	報告	① 理事長専決事項 ② 評議員選任解任委員会の招集と開催の件 ③ 定時評議員会の招集と開催の件
			議題	① 計算書類・事業報告の承認の件
2 (第 210 回)	2025 年 6 月 15 日 (日)	決議の省略 により開催	決議 事項	① 次期評議員候補者推薦の件
3 (第 211 回)	2025 年 6 月 23 日 (月)	決議の省略 により開催	決議 事項	① 次期役員(理事・監事)候補者推薦の件
4 (第 212 回)	2025 年 6 月 27 日 (金) 午後 4 時 00 分から午後 4 時 30 分まで 於：ホテルアソシア静岡 3 階 葵の間	6 人／6 人 (2 人／2 人)	議題	① 代表理事(理事長)の選定の件 ② 業務執行理事の選定の件 ③ 常勤役員の選定の件 ④ 常勤役員の報酬年額の件 ⑤ 相談役の選任の件 ⑥ 第三者委員の選任の件 ⑦ 評議員選任・解任委員の選任の件
5 (第 213 回)	2025 年 10 月 23 日 (木)	決議の省略 により開催	決議 事項	① 就業規則及び関連規則・規程改正の件 ② 通所介護事業所の一部休止と運営規程変更の件
6 (第 214 回)	2025 年 11 月 25 日 (木)	決議の省略 により開催	決議 事項	① 臨時評議員会招集の件
7 (第 215 回)	2025 年 12 月 11 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人／6 人 (1 人／2 人)	報告	① サービス運営基準の一部抵触について ② 上半期の経営状況及び監査報告について ③ 理事長・業務執行理事の報告 ④ 理事長専決事項
			議題	① 新緑の郷についての件

8 (第 216 回)	2026年1月15日(木) 午後2時00分から午後4時00分まで 於：厚生苑さくらの郷 2階 デイルーム	5人/6人 (2人/2人)	報告	① デイサービスセンターの資金計画とシミュレーションの件 ② 運営基準抵触事案に伴う諸事項の件
			議題	① 諸規程の改正の件
9 (第 217 回)	2026年1月28日(水)	決議の省略 により開催	決議 事項	① 重要な人事の件 ② サービス補償の件 ③ 改善計画の件
10 (第 218 回)	2026年3月26日(木) 午後2時00分から午後4時00分まで 於：厚生苑さくらの郷 2階 デイルーム	6人/6人 (1人/2人)	報告	① 法令基準抵触に関する件 ② 特定業務を担う職員の任用の件 ③ 理事長・業務執行理事の執行状況の件 ④ 理事長決事項の件
			議題	① 特別損失の計上及び補償対応の件 ② 本年度予算変更の件 ③ 次年度事業計画の件 ④ 次年度収支予算の件 ⑤ 短期資金借入の件 ⑥ 業務委託契約更新の件 ⑦ 役員賠償責任保険の件 ⑧ 役員人事の件

2 評議員会（開催回数 2 回）

回数	開催日時等	評議員出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 73 回)	2025年6月27日(金) 午後2時30分から午後3時55分まで 於：ホテルアソシア静岡 3階 葵の間	5人/7人 (2人/2人)	議題	① 事業報告・計算書類の承認の件 ② 第 24 期役員選任の件
			報告	① 事業計画・当初予算の件
2 (第 74 回)	2025年12月11日(木) 午後1時30分から午後15時25分まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	6人/7人 (2人/2人)	報告	① 上半期の経営状況及び監査報告の件 ② 新緑の郷についての件 ③ サービス運営基準の一部抵触についての件

3 監 査（開催回数 2 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
<p>監事監査[決算監査]</p> <p>2025年5月23日(木)</p> <p>午前9時30分から午後3時30分まで</p> <p>総務部</p> <p>厚生苑 清流の郷</p> <p>厚生苑 新緑の郷</p>	<p>監 事 長 長 嶋 吉 宏</p> <p>磯 貝 美 佳</p> <p>理 事 長 榎 本 雅 亮</p> <p>専 務 理 事 松 田 晃</p> <p>常 務 理 事 事 業 部 長</p> <p>中 山 千 砂 子</p> <p>総 務 部 長 由 良 美 香</p> <p>清 流 の 郷 施 設 長 大 檐 豊</p> <p>新 緑 の 郷 施 設 長 武 田 剛</p>	<p>「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第14版)」による</p> <p>2024年度 決算監査</p> <p>(業務監査)</p> <p>行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、社会福祉充実計画、事業報告及び附属明細書</p> <p>(会計監査)</p> <p>予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設</p>
<p>監事監査[定期監査]</p> <p>2025年11月27日(木)</p> <p>午前9時30分から午後4時20分まで</p> <p>総務部</p> <p>厚生苑 清流の郷</p> <p>厚生苑 新緑の郷</p>	<p>監 事 磯 貝 美 佳</p> <p>河 俣 貴 之</p> <p>理 事 長 榎 本 雅 亮</p> <p>専 務 理 事 松 田 晃</p> <p>常 務 理 事 事 業 部 長</p> <p>中 山 千 砂 子</p> <p>総 務 部 長 由 良 美 香</p> <p>清 流 の 郷 施 設 長 大 檐 豊</p> <p>新 緑 の 郷 施 設 長 武 田 剛</p>	<p>「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第14版)」による</p> <p>2025年度 定期監査</p> <p>(業務監査)</p> <p>行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉充実計画</p> <p>(会計監査)</p> <p>内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設</p>

4 主要会議・行事

(1) 執行委員会（開催回数 5 回）

開 催 日 時	2025年 5月 8日(木) 午後2時00分～	出 席 者	理 事 長 榎 本 雅 亮
	7月17日(木) //		専 務 理 事 松 田 晃
	9月18日(木) //		常 務 理 事 中 山 千 砂 子
	11月20日(木) //		理 事 内 藤 孝 二
	3月19日(木) //		理 事 海 野 フ ミ 子
			理 事 吉 川 雅 彦 ほか幹部職員

(2) 経営分析会議

開催日時	2025年11月13日(木) 午前10時00分から正午まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	講師	杉山公認会計事務所 所長 杉山 明喜雄 「決算からの法人経営の 特徴と課題」 石上社会保険労務士事務所 代表 石上 未紀 「労働施策総合推進法の改正と その対応について」	出席者	理事長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 常務理事 中山千砂子 理事 内藤孝二 理事 海野フミ子 理事 吉川雅彦 監事 磯貝美佳 監事 河俣貴之 ほか幹部職員
------	--	----	--	-----	---

5 地域貢献事業

(1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

地区・町内の居場所づくり事業「い〜とこあんざい」は、2018年3月より厚生苑JA さくらの郷を会場として開始し、本年度も継続して実施しました。また、「しぞ〜かでん伝体操」についても、コロナ禍以降、静岡厚生会が主体となり継続的に実施しています。

施設利用については、地区社協や民児協、町内会等の会議・総会会場として活用されたほか、小・中学生に対し夏休み及び冬休み期間中の自習スペースを提供しました。

地域交流活動としては、末広中学校地域作品展への出品や、静岡浅間神社廿日会祭の脚巡業、安西ふれあいフェスタへの技能実習生との参加等を通じ、地域との交流促進に取り組みました。また、安西・番町地域包括支援センター等の関係機関と連携し、地域住民への相談支援に努めました。

① 地区別 年間相談件数

地区	安西	番町	圏域外	匿名	合計	他機関紹介
相談人数	2人	0人	1人	-	-	3人
対応件数	2件	0件	1件	-	-	3件

② 相談内容（相談内容により複数計上）

相談内容	総計	相談内容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援		退院に関する相談	
認知症の相談		障害に関する相談	1件
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他	1件	地域の情報提供（S型デイ等）	
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談		総計	3件

③ 地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い～とこあんざい」

利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	51回
利用者	31	32	20	27	48	45	60	67	50	50	58	32	520名
スタッフ	33	47	43	27	39	33	45	32	32	34	33	16	414名
合計	64	79	63	54	87	78	105	99	82	84	91	48	934名

・高齢者の外出支援事業（福祉車両の無料貸出・おでかけ安西号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両 軽自動車）の貸し出しを行っています。2025年度は通院や施設送迎の為の貸出し利用はありませんでした。

・地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマンパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。登録制で、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。

※ 感染症対策として、2025年度も受入れ中止を継続しました。

イ) しぞ～かでん伝体操

利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	3	50回
利用者	52	67	48	50	66	50	66	52	41	56	56	45	649名

ウ) 小・中学生の夏休みと冬休みの自習の場の提供

夏休み 7月（4日間） 74名 8月（3日間） 58名

冬休み 12月（3日間） 64名

・生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

2015年4月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業となり、2018年9月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流の郷の介護の補助業務の体験就労を提供することになりましたが、本年度の利用はありませんでした。

6 第三者委員会苦情解決・虐待報告会・優先入所判定会の開催状況

実施日	開催方法	苦情（虐待）件数	
		清流の郷	新緑の郷
04月11日	合同	(特養1件)(デイ1件)	-
05月09日	合同	(特養1件)	-
06月13日	合同	-	-
07月11日	合同	(特養1件)	-
08月08日	合同	-	-
09月12日	合同	(特養2件)	-
10月10日	合同	-	-
11月14日	合同	-	-
12月12日	合同	(デイ1件)	-
01月09日	合同	-	-
02月13日	合同	(特養1件)	-
03月13日	合同	(特養1件)	-
計		(特養7件) (デイ2件)	(特養0件) (デイ0件)

7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

(1) 新人研修

例年、新卒採用職員の定着および基礎力向上を目的に、年間を通じた研修を実施しています。2025年度は新卒職員の採用がなかったため、該当する研修の実施はありませんでした。

(2) 技能実習生日本語勉強会

2024年より技能実習生の受入れを開始し、2025年度には2期生3名を迎え入れました。1期生については、7月までの期間にN3日本語能力試験形式による過去問題を中心とした勉強会を計12回実施しています。その後、8月からは初任者研修を毎週水曜日に行い、計15回をもって修了しました。2期生については、10月より1期生と同様の形式でN3日本語能力試験形式による勉強会を開始し、年度内に計15回実施しました。

(3) 内部研修

本年度も法定研修を中心に、勤務シフトの状況に応じた個人単位での動画視聴研修を実施しました。施設ごとに活用するコンテンツを整理し、清流の郷の職員は日総研の動画を中心に、新緑の郷の職員はお茶の水学院の動画を中心として法定研修を振り分けています。階層別研修および希望研修については、動画共有サイト内から研修担当者が適切な動画を選定し、両施設共通の動画研修として展開しています。

また、職員が無理なく継続的に知識を習得できる環境を整備するため、お茶の水学院のWEBアカウントを増設しました。これにより、シフト勤務による時間的制約がある職員も柔軟に受講できる体制が整い、受講機会の均等化と学習環境のさらなる向上につながっています。

(4) 法定外部研修

職員それぞれのスキルおよび希望に応じ、外部の研修や講習会への参加を支援しました。

内 部 研 修					
月	主 催	内 容	施 設	受講者数	
06 月	日総研	(法定) 高齢者虐待防止の研修①	清流の郷	146 人	
	お茶の水学院	(法定) 褥瘡対策に関する継続的教育 (階層別) コーチング研修	新緑の郷	47 人	
07 月	お茶の水学院	(法定) 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	清流の郷	130 人	
	日総研	(法定・希望) 事故発生または再発防止に関する研修	新緑の郷	60 人	
08 月	お茶の水学院 日総研	(法定・希望) 事故発生または再発防止に関する研修	清流の郷	192 人	
		(法定) 感染症及び災害に関わる業務継続計画のための研修	新緑の郷	87 人	
		(法定) 身体拘束等の適正化の為の従業者に対する研修			
09 月	お茶の水学院 日総研	(階層別) 認知症ケア (階層別) 報告・伝達 研修	清流の郷	126 人	
		(法定) ターミナルケア(終末期介護)に関する従業者研修	新緑の郷	58 人	
		(法定・希望) 認知症及び、認知症ケアに関する研修			
10 月	お茶の水学院 日総研	(法定) 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	清流の郷	66 人	
		(階層別) ストレスマネジメント研修	新緑の郷	30 人	
11 月	お茶の水学院 日総研	(法定) 感染症及び災害に関わる業務継続計画のための研修	清流の郷	124 人	
		(法定・希望) 認知症及び、認知症ケアに関する研修	新緑の郷	58 人	
12 月	お茶の水学院 日総研	(法定) 高齢者虐待防止に関する研修	清流の郷	124 人	
		(法定・希望) 事故発生など緊急時の対応に関する研修	新緑の郷	46 人	
01 月	お茶の水学院 日総研	(法定) 身体拘束等の適正化の為の従業者に対する研修	清流の郷	130 人	
		(法定・希望) 精神的ケアに関する従業者研修	新緑の郷	46 人	
02 月	お茶の水学院 日総研	(法定・希望) 従業者に対する医療に関する研修	清流の郷	104 人	
		(階層別) 安全対策強化研修	新緑の郷	38 人	
			年間合計	1,612 人	
外 部 研 修					
月	主 催	研 修	清流の郷	新緑の郷	本部/総務
04 月	静岡県社会福祉協議会	社会福祉法人監事監査研修会			1 人
	株式会社 ウエルネット	技能実習責任者講習		1 人	
	資格の学校 ホットライン	介護福祉士実習指導者講習会	1 人		1 人

05月	CIC 日本建設情報センター	第二種衛生管理者講習	1人	1人	2人
	全国老人福祉施設協議会	介護施設における安全対策担当者養成研修		1人	
06月	静岡市保健所 食品衛生課	食中毒予防のための衛生講習会	1人		
	静岡市地域リハビリテーション推進センター	しぞ〜かでん伝体操グループ情報交換会（講演会）			1人
07月	静岡県厚生農業協同組合連合会	JA 高齢者福祉事業研究会「居宅介護支援事業所・訪問介護事業所合同部会	3人		
08月	公益社団法人 日本看護協会	介護施設等における看護指導者養成研修	1人		
09月	静岡県老人福祉施設協議会	静岡県高齢者福祉研究大会		3人	
	静岡市保健所食品衛生課	第1回栄養講習会	1人		
	静岡県農業協同組合中央会	JA 介護保険事業別研修会（医療連携研修会）	1人		
	静岡県安全運転管理協会	安全運転講習	1人	1人	
	株式会社 福祉医療共済会	事例で学ぶカスハラ対策セミナー	4人	1人	
10月	全国社会福祉協議会	H.C.R2025 国際福祉機器展&フォーラム	1人	2人	
11月	静岡静岡県社会福祉協議会	施設間職員交流研修	2人		
	静岡商工会議所	勤続5年表彰式及び講演会	1人	1人	
	静岡県厚生農業組合連合会	静岡県JA介護保険事業研究会「研究集会」	4人		
12月	ブティックス㈱	CareTEX 名古屋 '25	4人	2人	
	静岡県老人福祉協議会	キャリアデザイン研修会	2人	1人	
	静岡厚生病院	院内感染対策研修会	1人		
	静岡県社会福祉協議会	社会福祉施設長資格認定講習		1人	
	静岡福祉大学	静岡福祉大学学内企業研究セミナー			2人
01月	株式会社 ウエルネット	技能実習責任者講習	1人		
	株式会社 アブエンテ	技能実習指導員講習			1人
03月	静岡福祉大学	介護福祉士実習指導者懇談会、意見交換会			1人
	静岡県厚生農業協同組合連合会	静岡県JA高齢者福祉研究会「経営者・管理者合同部会」		1人	
拠点小計			30人	16人	9人
年間合計			55人		

(5) 受験結果

項目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員
受験者数	2人	0人	2人
合格者数	2人	0人	1人
合格率	100%	-	50%

(6) 講習資格受講者・保有者

項目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員講習	医療的ケア教員講習	主任 介護支援専門員講習	防火管理者講習
受験者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
受講済者 累計	12人	15人	5人	1人	2人	3人	10人

(7) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実習者数	11人	2人	2人	0人	0人	15人
受入延日数	132日	46日	10日	0日	0日	188日

2025年度は、静岡女子高の介護実習、静岡福祉大学の社会福祉士相談実習と静岡県立大学短期大学部の栄養実習を受け入れております。

8 寄付

静岡英和女学院中学校・高等学校 20,000円 (施設利用者のために)
 個人 30,000円 (法人のために)
 個人 50,000円 (施設利用者のために)

9 その他

(1) 認証・宣言・登録

- (1) 男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体
- (2) ふじのくに健康づくり推進シルバー認定事業所
- (3) 静岡県 家庭教育応援登録企業
- (4) 基準適合 認定 一般事業主(くるみん4つ星)

社会福祉法人 静岡厚生会

経営理念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

- | | |
|--------|---|
| 安定した経営 | 介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。 |
| 地域への貢献 | 法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。 |
| 適切な支援 | 法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び人権に基づく介護の実践に努めます。 |

行動指針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます。

2025 年度 苦情受付一覧

1) 法人本部…下欄のとおり

番号	受付日	申出人	種別	分類	苦情内容	結果	備考
25 本 1	2026.3.7	退所者 家族 (長女)	介護老人福祉 施設 (清流の郷)	その他	[基準上の入浴回数の未達に対する返金事務過程において] 通知された入浴回数についてこれは正しいのか、以前情報開示された介護記録には暴言等の記録は詳しくあるが入浴の記載が少ないと感じていた。今回の件で何の為の記録かとお指摘をいただいた。その他前施設長への不信を露わにされた。	施設内の複数の記録を統合して入浴回数を算出した旨を説明したが、開示済みの介護記録が正式記録であることを双方で確認し、回数を訂正した。長女自ら開示記録をもとに再計算を行うとのことで依頼を受けた。前施設長および施設への不信については、申出人のお話を丁寧に傾聴した。	

2) 清流の郷…下欄のとおり

番号	受付日	申出人	種別	分類	苦情内容	結果	番号
25 清 1	2025.4.4	長女	通所介護	その他	毎利用時、外側のテープ式オムツを2枚、パッドを3~4枚予備として持参しているが、毎回全量使い切って帰宅する。節約を求めているわけではないが、使用枚数が多いのではないかと疑問があり、丁寧な介護をお願いしたい。	調査の結果、職員がパッドの少量汚染を確認した際に速やかに交換していた事実が判明した。申出人とは約30分間電話で話を伺い、担当ケアマネジャーへ報告した。翌利用日に所長が改めてお詫びし、継続利用のご同意をいただいた。職員間でケアを見直すとともに、申出人と交換基準の擦り合わせを行った。	
25 清 2	2025.4.14	長女	介護老人福祉 施設	その他	更新後の介護保険証が届いたが、更新の件は聞いていない。介護度3から4になったのはなぜか。料金が高くなる。従前は認定期間が1年間だったが、更新後は3年間なのはなぜか。	入所契約時に更新手続きは施設が代行する旨を説明していたことを確認した。今後は手続きの際に代理人へ事前に連絡を入れるよう改める。介護度の変更については認定調査票を取り寄せ内容を説明し、費用面のご理解をいただけるよう努める。変更申請と更新申請では認定期間が異なる旨も説明し、理解を得た。	25 清 2

25 清 3	2025.7.4	長男	介護老人福祉施設	職員の言動	面会時母から、夜間オムツ交換を依頼したが次の交換まで2時間かかると言われた。交換依頼があったら交換して欲しい。 また、その際の会話で、言い争いになったようだ。母は耳が遠いが乱暴な言葉遣いなら直して欲しい。	当該フロアの職員に聞き取りを行い、フロアリーダー・介護課長と再発防止策を協議した。全職員に対し言葉遣いおよび接遇について注意喚起を行う。また、夜間帯のケア提供状況（夜勤体制・ナースコール・センサー発報の対応状況等）について、申出人にご理解いただけるよう説明の機会を設ける。	
25 清 4	2025.9.1	妹	介護老人福祉施設	職員の言動	面会時食べ物を持参したが、職員におやつ後なのでと止められた。前より痩せたと感じ食べてもらったと、職員から夕食を減らすと言われた。驚愕しショックを受けた。おやつ持参時食事を減らすのは不憫だ。	職員側に嘔吐・誤嚥性肺炎等のリスクを優先する意識が強く働いていたことを確認した。病院と比べ必要栄養量が少ない点や、主食の増量等により対応できる旨を申出人に説明し、ご了承をいただいた。	
25 清 5	2025.9.4	姪	介護老人福祉施設	ケアの内容	頭部が臭いので、入浴日は決まっているか、本人が週に1回し入浴していないと言っているが事実かと施設長に話しがある。 病欠など職員数の関係で、週1回しか出来ない週があったことを伝える。 週2回入浴して欲しい。	出勤者数によっては入浴業務まで手が回らず、週1回しか入浴できない週が生じていたことを施設長らが確認した。以前からこのような状態が慢性化していたことも判明した。法人として人員体制の見直しをはじめとする改善に取り組んだ結果、現在は解消されている。	
25 清 6	2025.12.4	次女	通所介護	ケアの内容	連絡ノートに、次の予定日は受診のため休みと記載し、確認印が押されていたが、当日の朝に間違えて迎えに来た。 また、朝、事業所出発時に、自宅へ電話連絡を依頼したが、利用開始後何回か連絡なく迎車があった。	担当ケアマネより家族からの相談を受けた旨の報告を受け、所長が自宅を訪問し謝罪と対策を説明した。連絡ノートの確認については生活相談員へ申し送り、対応の徹底を図る。電話連絡の見落とし防止策として、担当車両のバインダーに「事前連絡」の札を作成し、目視で確認できる体制を整えた。	

25 清 7	2026.2.2	本人	介護老人福祉施設	個人の嗜好・選択	朝食にパンを出して欲しい	現在、朝食にパン食を提供する体制をとっていないことを申出人に説明した。食事としての提供が可能かどうか、またおやつや特別食としての対応など、提供方法について検討を行っている。	
25 清流 9	2026.3.26	長女	通所介護	ケアの内容	送迎時に降車した際、玄関チャイム、ドアの開閉操作の支援を依頼していたが、降車時一連の支援が無く玄関前に一人残して去ってしまったため、自宅内に入らず外で待っていた。お願いしたことはやって欲しい。	一連の支援が未実施だった点について謝罪した。送迎表の注意事項に既に記載されていたことを踏まえ、運転・添乗時における記載事項の確認徹底を周知するとともに、記載方法を見直した。また、鍵を持たない利用者宅への訪問時に家族が不在の場合の対応についても、改めて職員への周知を図った。	

3) 新緑の郷 …該当なし

4) さくらの郷…該当なし (在宅介護支援センター)